

## ▼LH-RH 注射液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】ゴナドレリン酢酸塩 gonadorelin acetate 【分類】LH 分泌ホルモン剤

【単位】▼0.1mg/mL [1mL]

【常用量】1回 0.1mg

【用法】静注, 筋注, 皮下注■静注の場合は注射用水 5~10mL に希釈して徐々に静注

【透析患者への投与方法】透析患者の投与方法に言及した文献なし。薬物動態についても不明な部分が多い (5)

【保存期腎不全患者への投与方法】不明 (5)

【特徴】LH 分泌ホルモンは視床下部から放出され、下垂体門脈を経て下垂体前葉に達し、下垂体ゴナドトロピン分泌を促進させるホルモンで、LH 分泌のほか、FSH を分泌させる作用を持つ。ゴナドトロピンは睾丸または卵巣に働き、テストステロン、エストロゲン等の性ホルモンの産生・分泌を促し、二次性徴を発生させ生殖機能を維持する。

【主な副作用・毒性】下垂体卒中（下垂体腺腫患者に投与した場合）、ショック、月経早期発来、消化器症状、尿意、熱感

【tmax】30min

【代謝】LH-RH は腎でも代謝を受ける (Gibson TP: Am J Kidney Dis 8: 7-17, 1986)

【t1/2】4min (11)

【蛋白結合率】不明 (11)

【Vd】不明 (11)

【MW】1302.39

【TDM のポイント】TDM の対象にならない

【pKa】6.28, 9.85 (1)

【更新日】20121205

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。